

舞鶴市ボランティアセンター

まいづるボランティアだより

第2号

平成31年3月発行

ボランティアグループ
国際ソロプチミスト舞鶴 日星高等学校Sクラブ

平成30年12月19日(水)、余内地区に在住する328世帯の一人暮らし高齢者へ、メッセージを添えたクリスマスカードと手作りクッキーを地域の民生委員さんと共に3~5名のグループに分かれて訪問をしました。

この訪問を楽しみにしておられる方も多く、「来年も待ってるよ」等温かい言葉をいただきました。

この日を楽しみにしています
～友愛訪問活動～

ボランティアに関することは
なんでもお聞き
ください!

舞鶴市ボランティアセンターは
ボランティアグループの活動を支援しています

- ボランティア活動を市民の皆さんへ広めています
- ボランティアに関する相談を受け付けています
- ボランティア同士の交流や研修の場をつくっています
- ボランティア活動のコーディネートを行っています
- ボランティア活動への財政的な支援を行っています
- ボランティアに関する情報提供を行っています

発行者 舞鶴市ボランティアセンター (舞鶴市社会福祉協議会内)

住所: 〒625-0087 舞鶴市字余部下1167 中総合会館3階 電話: 62-7044・65-0058 FAX: 62-7039
Email: maizuru-shakyo@jasmine.ocn.ne.jp URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/maizuru>

舞鶴市ボランティアセンターの活動をご紹介します!



6月 26日(火) 福祉施設に綿布を贈る活動

平成27年度から毎年2回程度、福祉施設に綿布を贈る活動をしています。福祉施設から綿布が不足しているとの声をお聞きしこの活動は始まりました。集まった綿布は希望する福祉施設に贈られ身体を拭く布等様々な用途で活用されています。6月26日(火)と11月27日(火)に実施し、6月は6福祉施設、11月は7施設に提供しました。



綿布仕分けの様子



施設への綿布受け渡し

平成31年度も6月下旬、11月下旬に実施を予定しています。ご家庭で不要になったタオルや肌着等がありましたら提供にご協力をお願いします。詳細はホームページやチラシ等でご案内します。

7月 10日(火)～16日(月) 豪雨災害に伴うボランティア活動への支援

7月5日から発生した大雨の被害を受け、舞鶴災害ボランティアセンター(構成団体:特定非営利活動法人ガバナンス舞鶴、公益社団法人舞鶴青年会議所、社会福祉法人舞鶴市社会福祉協議会、舞鶴市ボランティアセンター)を開設し、市内の復旧支援を行いました。

支援件数は70件、ボランティア数は344名。市内外から多くのご支援をいただきました。

本センターでは、当日のボランティア受付や駐車場の案内等、17名のボランティアが支援に協力しました。



ボランティア受付

災害は起こらないことが一番良いですが、舞鶴災害ボランティアセンター開設時は、組織の一員として被災者やボランティアへの支援を行っていききたいと思います。

8月 26日(日) 第29回 ふれあいバザー

中総会館4階コミュニティーホールで開催したふれあいバザーは、開店前から長蛇の列となり約300名もの方にご来場いただきました。

センターからは、108名が参加し、バザー物品、料理コーナー、キッズコーナーの各コーナーを担当しました。

バザーの売上げ173,181円は、ボランティアセンターに登録されている団体、個人の活動等の支援金に充てられています。



平成31年度は、8月24日(土)中総会館4階コミュニティーホールにて開催を予定しています。バザーに出品する物品を、8月中旬頃から受け付ける予定ですので、提供にご協力をお願いします。当日はたくさんの方のご来場をお待ちしています。

1月 31日(木) ボランティア活動フォーラム

中総会館にて、講師(京都光華女子大学 南 多恵子氏)をお招きし、舞鶴市ボランティアセンターに登録されている方を対象に研修会と交流会を実施しました。

参加人数は34名で、前半は、講師から他市のボランティアセンターの実践事例を学び、また後半は交流会を通してセンター事業についてみんなで考える良い機会となり、それぞれのスキルアップを図ることができました。



講師のアドバイスに耳を傾ける参加者

平成31年度も、舞鶴市内のボランティア活動の活性化への支援を行っていきます。

2月 16日(土) 第7回きょうと地域福祉活動実践交流会(亀岡市)

センター登録者やサロンを運営している方々の研修を目的に交流会へ参加しました。今回の交流会のテーマは「歴史は変わる、地域も変わる、私たちが変える!」で、南丹地域からこれからの地域福祉の多様性や地域の強みに着目した実践報告をお聞きしました。

自分たちの暮らしを良くするために、主体的に関わることや、活動の原動力へのヒントなどについての講義を聴きました。また、他の地域での取り組みを聞きながらの交流では、皆さん熱心に質問され、様々な気づきがありました。



舞鶴市からは32名が参加しました

平成31年度も、他市の視察研修を通して、更なるボランティア振興をすすめていきます。

2月 23日(土) ボランティア体験教室

センターに登録されている2グループ(舞鶴手話サークル「つたの会」、まいづるアロマきっず)の協力のもと、ボランティアに興味がある方を対象として、ボランティア体験教室を開催しました。

当日は29名の方が参加し、2グループからは、ボランティアの楽しさや、やりがい等話していただき、また、実際に活動の一端を実践していただきました。参加者からは「こどもさんのアロマによるセラピーはとても癒されました」、「自分の名前を手話で覚えることができ、簡単な手話も学び貴重な体験でした」等感想をいただきました。この体験を通して、ボランティアの輪が広がることを期待しています。



センターからボランティアについての説明



舞鶴手話サークル「つたの会」



まいづるアロマきっず

平成31年度も、「ボランティアに興味がある」「気になっている」「実際に活動に参加したいと思っている」、そういった方への一歩を応援する企画を予定しています。

ボランティア活動者の声

ボランティアグループ「中宮フレンド」で活動している

上山 宏さんにインタビューしてみました

Q.グループの立ち上げのきっかけはなんですか？

A. 10年前になるのですが、はじめは、町内の防災組織を作ることを目的に出発しました。そして、町内会の役員引継ぎの際、老人会の世話役をお願いされ、相談の結果、町内の空き家を活用し、町内の方がいつでも気軽に集える場所として会を発足しました。また、舞鶴市からの助成もあり運営面での資金を確保することができました。

Q.グループの活動を通じて得られたものや良かったことはなんですか？

A. 町内会の方々との横のつながりや会員さん及び家族の安否確認ができるようになりました。また、町内のボランティアに関する意識が変わり、ボランティア活動に参加していただける方が増えました。

Q.はじめてグループを立ち上げる方へメッセージをお願いします。

A. 以下の4つを大切に、グループの立ち上げをしてみてください。

- ①スタッフ人数の確保（出来れば男性1名を含め4名程度）
- ②集会所の確保
- ③社会福祉協議会や関係機関への相談
- ④会費はその都度いただく



上山 宏さん

【中宮フレンド】
会員5名（サロン活動の世話役）

【活動内容】
地域の高齢者を対象としたサロン、見守り活動。高齢者を対象とした運動教室。

ボランティアガイド

ボランティア活動は様々な分野や場所で実践されています。その一例をご紹介します。気になるボランティア活動等ありましたら、お気軽にご相談ください。

や

やくだつ ～人や社会に役立つために～
・募金、使用済み切手収集・献血・骨髄バンク・リサイクル

さ

ささえあい ～支援が必要な人々の生活を支えるために～
・移動・案内・施設利用のためのガイドヘルプ（車イスの介助など）・代筆・手話通訳・要約筆記・点訳・朗読

し

しらせる ～生涯学習を活かすために～
・動物園、美術館、博物館などの展示案内・戦争体験（語り部）

さ

サポート体制づくり ～地域を住みよくするために～
・見守り・防犯、防災訓練・サロン活動・環境美化活動・小地区福祉ネットワーク活動・調査、広報活動

の

のばす ～児童、青少年の心を育てるために～
・養護施設、保育所でのふれあい・BBS運動（立直り支援）・学校での福祉教育活動

ま

まもる ～自然環境を守るために～
・自然保護（動植物）・海、川、湖の保全・エネルギー問題

ち

地球はひとつ ～国際社会でのたすけあいのために～
・国際平和問題・人種、民族差別の撤廃・通訳、ガイド・留学生支援・発展途上国への医療品、教育医療活動、生活向上